

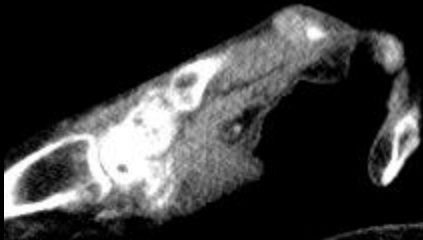
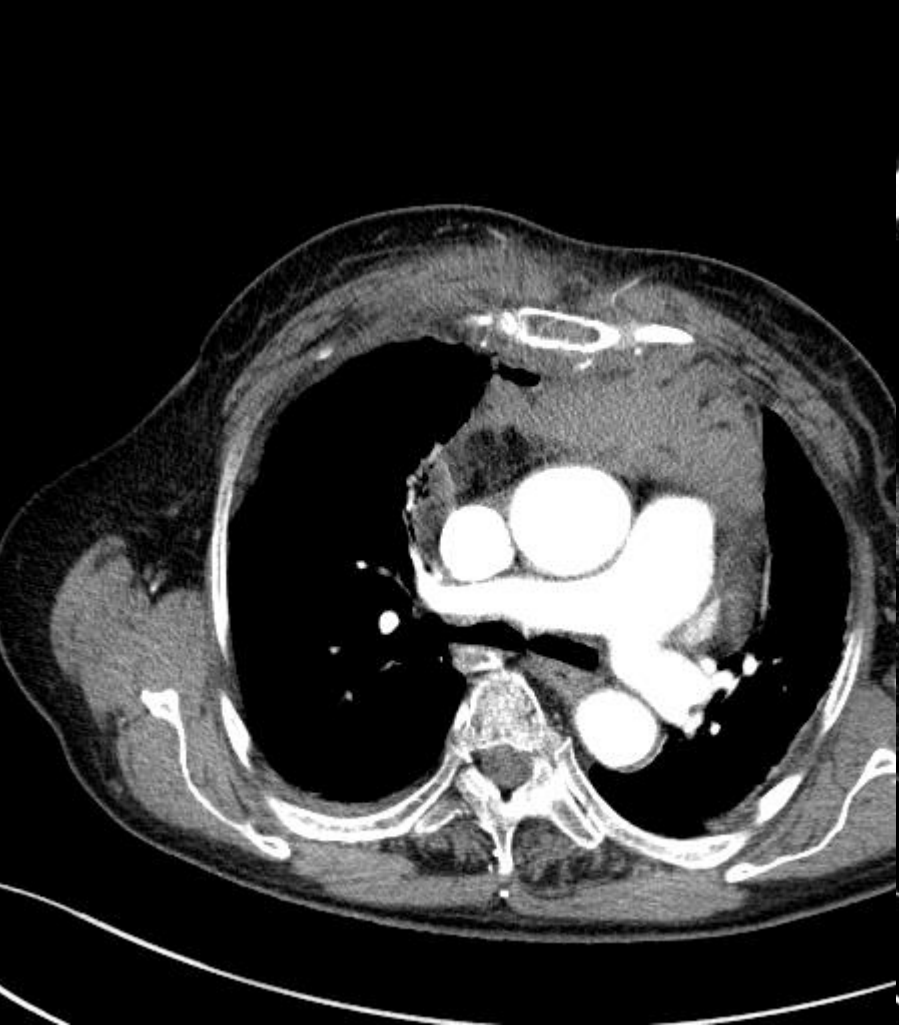
左内胸動脈損傷

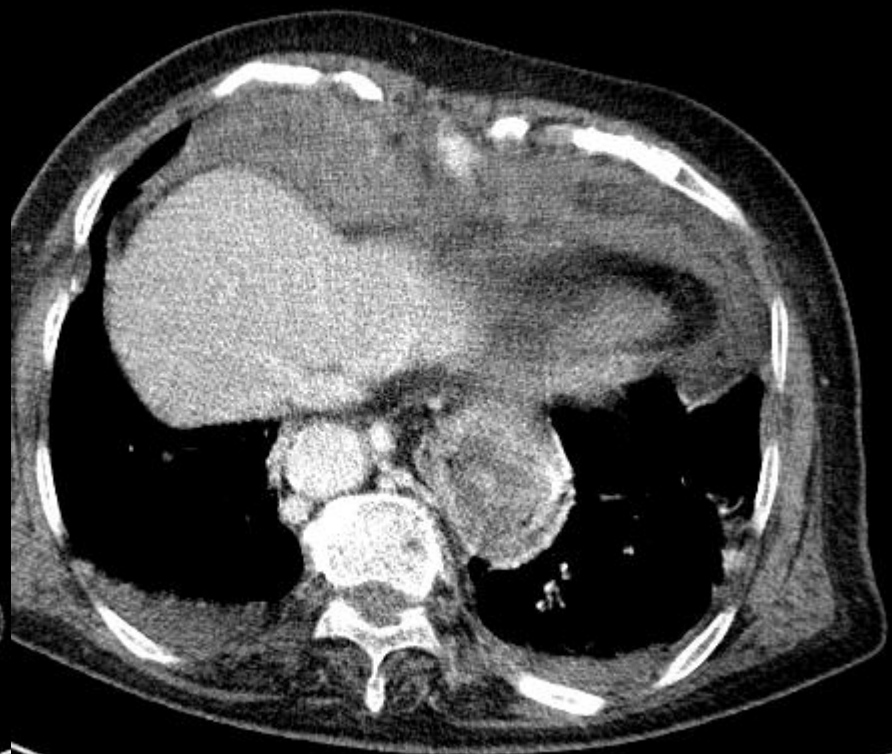
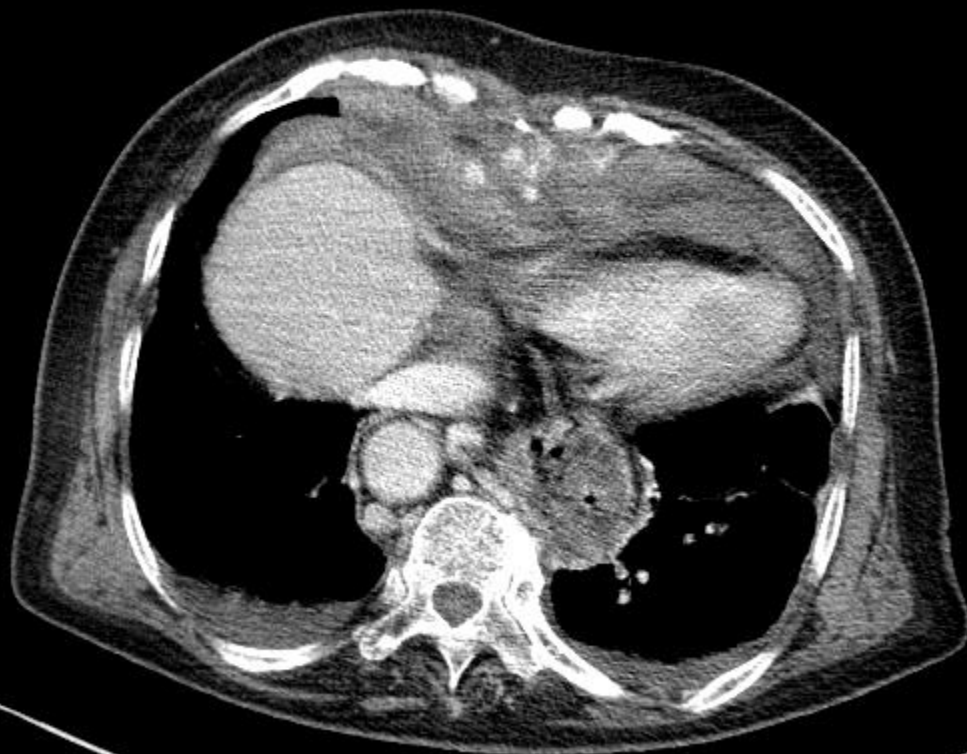
80歳代女性

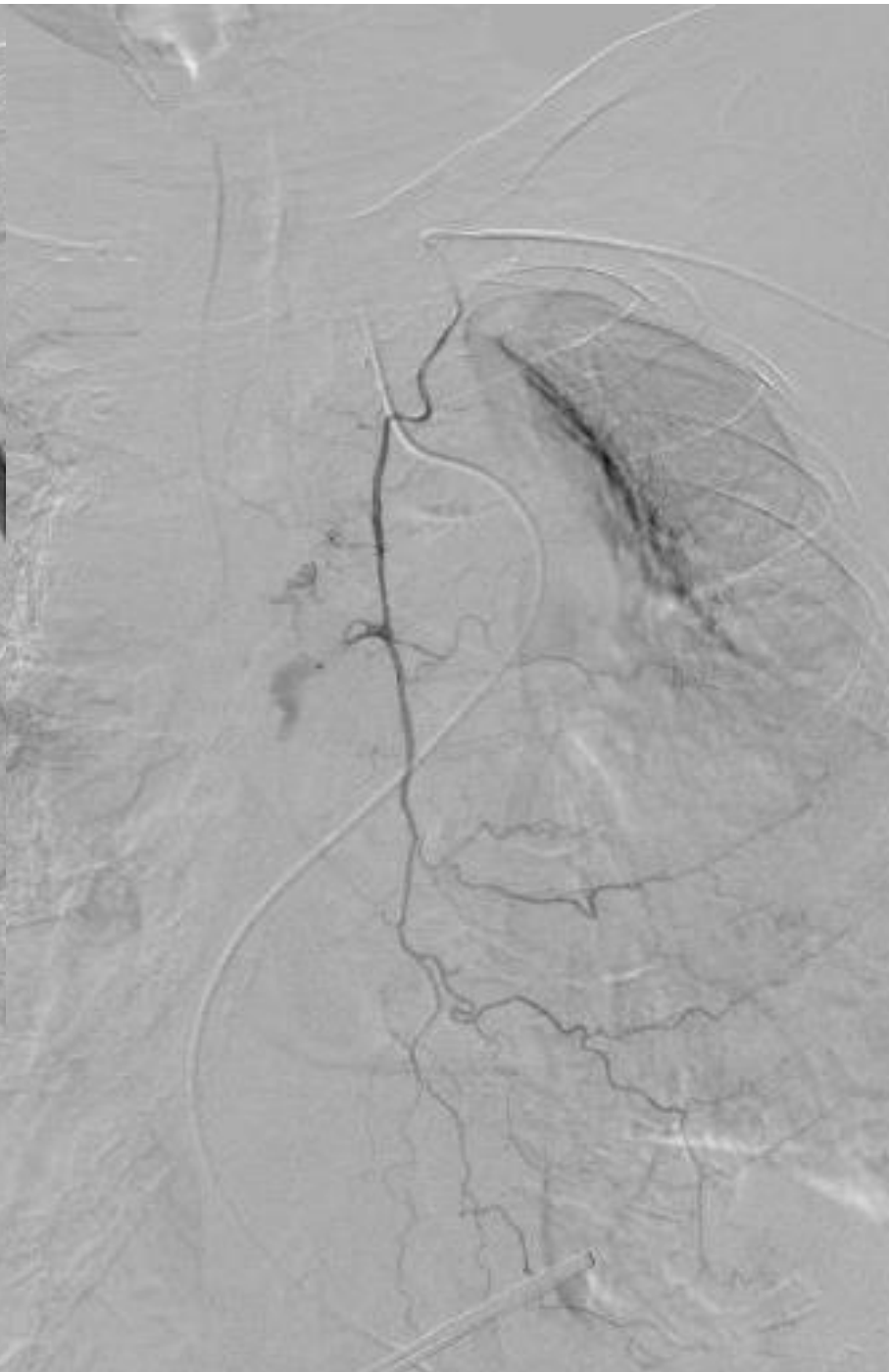
- 介護施設のワゴン車2列目右側に乗車中、ワゴン車が前方の自動車に追突。
- 来院時、ショック状態

外傷パンスキャン

- 外傷性くも膜下出血。
- C2椎体骨折及び上位頸椎の多発棘突起骨折。
- 左椎骨動脈にはC2レベルで軽度の狭小化
- 多発肋骨骨折+右鎖骨骨折+左内胸動脈損傷：血管外漏出所見あり。
- 両側腹斜筋内血腫と血管外漏出所見
- 外傷性腓尾部損傷？







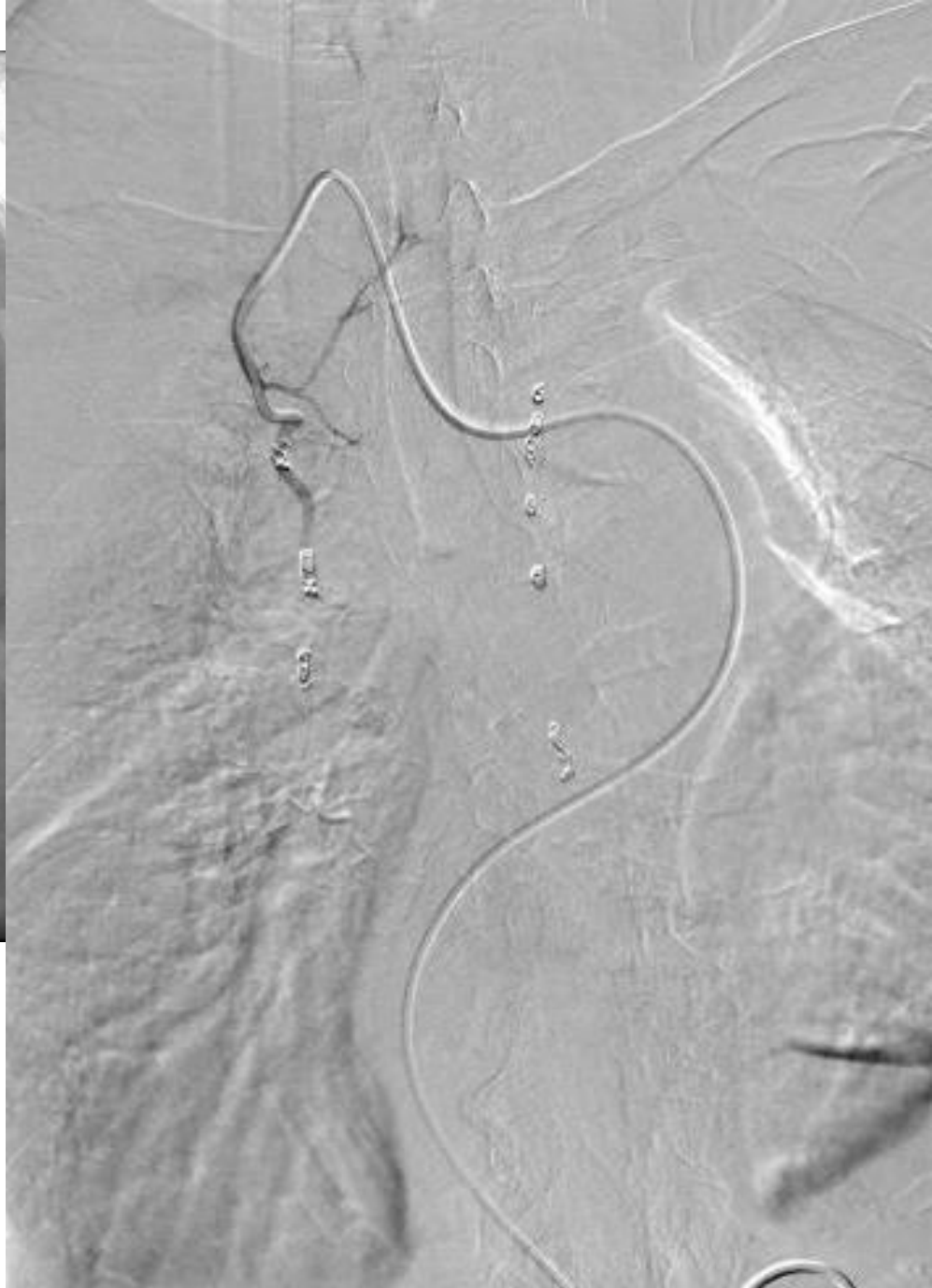
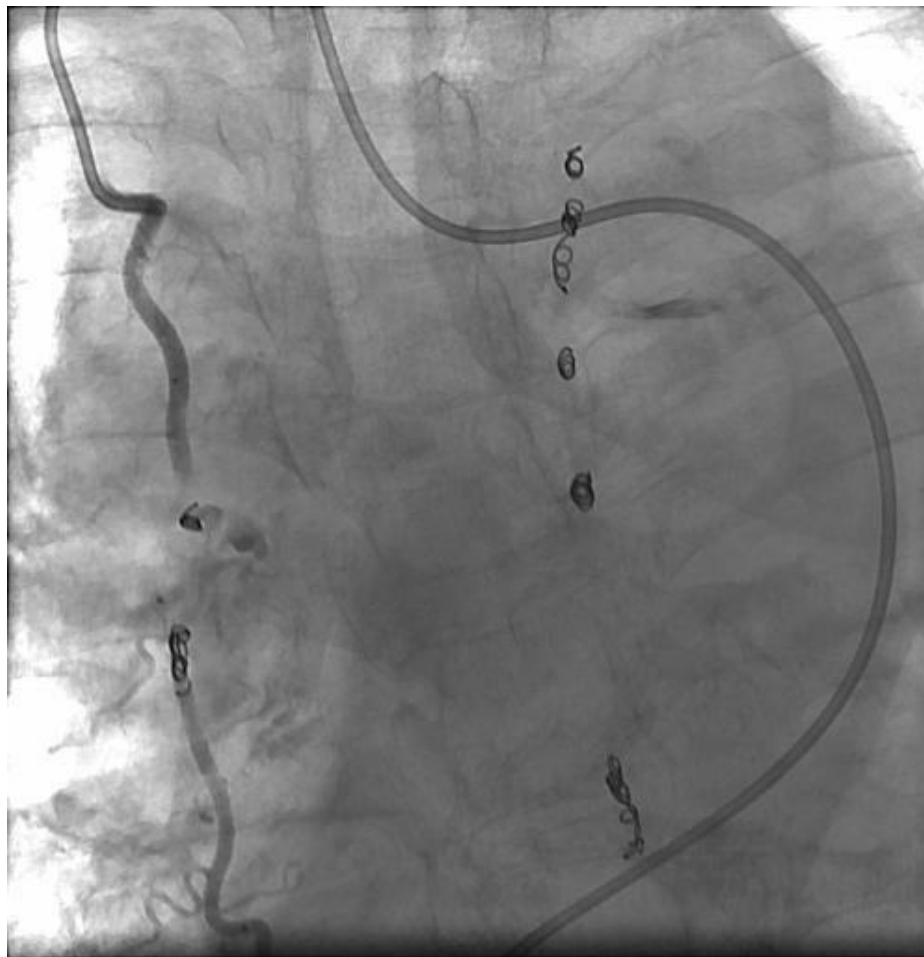
右大腿動脈より5.5Frイントロデューサーを挿入。
5Frヘッドハンターにて左鎖骨下動脈を選択。
鎖骨下動脈造影を行うも、左内胸動脈の分岐部が得られず。
左肘動脈より4Frイントロデューサーを挿入。
シモンズ型カテーテルを途中で切断し、RIM型に変更。
左内胸動脈を選択。



2mm/3mmボルテック
スコイル、次にIDC3mm
径6cm長を挿入。
次に約3~4cm程離し、
2mm/3mmボルテック
スコイル、1.5cm程手前
にIDC3mm径6cm長のコ
イル、さらにその手前
に同じIDCコイルを塞栓。
1cm程離し2mm/3mmボ
ルテックスコイルを塞栓。
その時点で造影にて血
管外漏出所見が消失。



右鎖骨下動脈にガイドワイヤーを挿入するも、右内胸動脈方向にはカテーテル先端が向かず、カテーテルをヘッドハンターに交換。造影を行い、右内胸動脈を選択。マイクロカテーテルシステムを選択。造影にてやはり複数箇所造影剤血管外漏出所見を確認。



マイクロカテーテルシステムを右内胸動脈末梢に送り込み、3mm径のIDCコイル6cm長。
次に2mm/3mmボルテックスコイル、さらにすぐに4mm径8cm長のIDCコイルを塞栓。
2cm程離し、2mm/4mmボルテックスコイルを塞栓。
造影にて造影剤の血管外漏出所見が消失したことを確認、手技を終了。37日後多臓器不全にて死亡。